

『時事直言』 No.1447 2020年1月13日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

四面楚歌のトランプに「弱り目に祟り目」！

トランプの資金バックであり、ユダヤ思想の下でトランプを主導してきたシェルドン・アデルソン氏（イスラエル右派の黒幕・カジノ王）が死亡した。

トランプは1月6日全国からワシントン DC に集まり議事堂に乱入したトランプ支持者を煽ったとして下院と上院で弾劾されようとしている。

下院議長のペロシーはペンス副大統領とホワイトハウス高官がトランプを降ろしペンスが暫定大統領になる措置（憲法改正 25 条）を取らねば弾劾すると強硬である。

2018年6月、トランプは大統領令を発し、大統領選挙が外国に妨害された場合、司法（国家情報局）は45日以内に大統領と議会に犯罪事実を報告、大統領は非常事態宣言を発し、犯人、容疑者を軍法裁判にかけることが出来、1月6日バイデンが正式に議会で選出される前にストップがかけられる。しかし親トランプのラトクリフ米国家情報長官は反トランプのFBI、その他の情報局の妨害に合い12月18日（45日目）の期限に報告が出来なかった。トランプは在任中数々の犯罪捜査の対象になっていたが大統領であることから押さえられてきた。ただの人になれば身柄拘束、有罪、懲役は確実である。その為 Self Pardon（自己恩赦）を実行するつもりであったが、共和党内部からもマスコミの煽動で世論からも反対され難しくなっている。

執拗にトランプを追いつめてきた下院議長ペロシーに謝罪して大統領を辞任してペンス暫定大統領に恩赦をしてもらう道もあるが、トランプはペロシーを「魔女狩り」だと罵っている。

今やトランプは「万策尽きた」が、FRBの長老が昨年11月私に言ったようにトランプは「お払い箱」なのだろうか。

1月20日正午までの1週間、アメリカにはこのままで「何も起きない」のだろうか。

このままではトランプは1月20日後、「ご苦労様でした」で「豚箱に放り込まれて」終わりとなり、アメリカはバイデンの「大きな政府」に逆戻りすることになる。

アメリカが歴史の流れに逆行するなどあり得るのか。

私はトランプではなく「バイデンに何が起きるか」に関心がある。

多分「もう決まっている」のだと思う。

近日中に発表する「増田塾」でお話します。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法: Google, Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

増田俊男の「目からウロコのインターネットセミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネットセミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4～6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：www.chokugen.com）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。